

1月

ジャンル	配本日	ISBN 978-4-591-	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
実用	1月18日	168943	子どもが喜ぶことだけすればいい	佐々木正美	1,200	B6判並製	256	児童精神科医。1935年群馬県生まれ。2017年没。新潟大学医学部卒業。ブリティッシュ・コロンビア大学児童精神科、東京大学精神科、東京女子医科大学小児科、小児療育相談センターなどを経て、川崎医療福祉大学特任教授。臨床医としての活動のみならず、地域の親子との学び合いにも力を注いだ。著書に『子どもへのまなざし』（福音館書店）、『子どもの心の育てかた』（河出書房新社）など。	親や教育者から絶大な支持を得る児童精神科医・佐々木正美さんの子育ての悩みに寄り添うメッセージブック。「いい子だからかわいがるのではない、かわいがるからいい子に育つのです」など、子どもにとってなにかが真の愛情なのかやさしい言葉でつづります。プレゼントにも最適。
実用	1月18日	168851	人事担当者が明かす！ 受かるエントリーシート 落ちるエントリーシート	梅崎修 神山典士	1,400	四六並製	240	梅崎修（法政大学キャリアデザイン学部教授）……人材マネジメント、キャリア教育の効果測定の専門家。人材採用関係の著書多数。 神山典士（ノンフィクションライター）……著者！50冊を超えるベテランライター。「大宅壮一ノンフィクション賞」「小学館ノンフィクション大賞」「編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム大賞」など受賞	就活生必読！各社の人事担当への徹底的な取材から見えてきた「ウイズコロナ時代に受かるエントリーシート」とは？就活のプロ（法政大学キャリアデザイン学部教授）と文章のプロ（大宅ノンフィクション賞受賞作家）が、どの業種にも必ず通用するエントリーシートの書き方を伝授します。
ノンフィクション	1月12日	168424	妻がマルチ商法にハマって 家庭崩壊した僕の話。	ズータン	1,500	四六並製	272	会社員。マルチ商法にハマっていた妻が、ある日突然娘を連れてマルチ商法の上位会員の家で生活をはじめた。それをきっかけに妻に何が起こっていたかを知るためにマルチ商法の情報収集と情報発信を開始。noteに公開した記事は30万PVを超えるなど大きな反響を呼ぶ。	「普通の人々が、ある日突然、加害者にも被害者にもなるんです」 平凡な男がマルチ商法によって家族を失うまでをリアルに描き、noteで大反響だったノンフィクション連載を書籍化。身近におこりうるマルチ商法問題のほんとうの闇に迫る一冊。
文芸	1月12日	169070	零から0へ	まはら三桃	1,600	四六並製	312	福岡県出身、在住。2005年講談社児童文学新人賞く佳作>をとり翌年デビュー。『奮闘するたすく』は2018年青少年読書感想文全国コンクールの課題図書。ほかに『たまごを持つように』『思いはいのり、言葉はつばさ』など多数。一般文芸としては『空は逃げない』『パパとセイラの177日間』がある。	1945年、聡一は鉄道総局の研究所に入所する。そこには戦争中に軍で戦闘機の設計や製作に関わり多くの命を奪う結果を生んでしまったことを悔いる壮年の技術者たちがいた。平和への想いを込め、東京―大阪間を数時間で結ぶ高速鉄道の開発に取り組む彼らを手伝ううち、聡一もいつしか没頭していく。過去を乗り越え、未来へ向かう様々な人々の、希望の物語。
文芸	1月12日	168868	ヨンケイ!!	天沢夏月	1,500	四六並製	312	1990年生まれ、神奈川県在住。『サマー・ランサー』にて第19回電撃小説大賞（選考員奨励賞）を受賞し、デビュー。瑞々しい感性で描かれる青春小説に定評のある気鋭の作家。著書に『DOUBLES!! -ダブルス-』シリーズ、『八月の終わりは、きっと世界の終わりに似ている。』『七月のテロメアが尽きるまで』まで人気作多数。	慢性的な人数不足に悩む離島・大島の渚台高校陸上部。インターハイ予選を目前に控え、奇跡的に男子4人のスプリンターが揃ったことから100×4リレー（四継）に挑むことに―。青春小説の旗手がおくる、感動のスポーツ小説！
文芸	1月6日	168875	ラストは初めから決まっていた	田手鞠るい	1,600	四六並製	256	1956年岡山県生れ。1981年「詩とメルヘン」賞、1993年「海燕」新人文学賞、2005年「欲しいのは、あなただけ」で島清恋愛文学賞、2009年絵本『ルウとリンデン 旅とおるすばん』（絵／北見葉胡）でポロニーヤ国際児童図書賞を受賞。主な著書に、『美しい心臓』『アップルソング』『星ちりばめたる旗』『炎の来歴』など多数。近年は児童書作家としても活躍している。	一週間で小説を書きあげること、「自分の体験した恋愛」がテーマであること、決められた相手と書いている途中の小説を交換し、感想を伝えること―。創作ゼミの課題に堂島ことりは取り組むが―。とある「交換小説」が導く恋の行方と、そこに隠された「秘密」とは。恋愛小説の名手が贈る、切なさと驚きに満ちた恋物語。

2月

ジャンル	配本日	ISBN 978-4-591-	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
エッセイ	2月8日	169018	経験 この10年くらいのこと	上田晋也	1,400	四六並製	272	お笑いコンビ・くりいむしちゅーの突っ込み担当。1970年、熊本県生まれ。早稲田大学教育学部中退。「世界一受けたい授業」「しゃべくり007」「今夜はナゾトレ」など多数のバラエティ番組でレギュラー出演。その他バラエティ番組の司会としても、鋭い突っ込みあり、爆笑ありの軽妙なトークを披露している。	くりいむしちゅー上田晋也による初のオール書下ろしエッセイ！ この10年間、一度も文章を書いていなかった上田氏の日常を綴った、非成長記録。帯にはマツコ・デラックスさんのコメント！この冬、絶対にはずせない一冊。
ビジネス	2月8日	168004	経営の正解はすべて社員が知っている	山室晋也	1,500	四六並製	256	前・千葉ロッテマリーンズ代表取締役。現在はJリーグ清水エスパルス運営会社社長。みずほ銀行時代は4カ所の支店長を経験し、在任17期中15期で総合成績優秀賞を受賞。13年に関連会社の社長となり、その経歴から「リアル・半沢直樹」と言われる。	プロ野球球団・千葉ロッテマリーンズは、2013～2019年の6年で観客動員数を30万人伸ばし、2019年は球団史上初の黒字を達成した。その立役者となったのが、前・球団社長の山室氏。人気がない、やる気も低い、パフォーマンスも低い組織を立て直した山室氏の手法のすべてがここに。すべてのビジネスパーソンにおすすめの一冊。
ビジネス	2月15日	166123	超一流の強運力	安田正	1,500	四六並製	192	企業コンサルタント。主な著書にシリーズ累計90万部を超えた『超一流の雑談力』（文響社）や『超一流できる大人の語彙力』（プレジデント社）などがある。	88万部超「超一流の雑談力」の著者が、「運」の持つ計り知れない力を実体験やデータをもとに初めて明かします。成功者の考え方・行動には、「強運力」という共通するベースがあった！「運がよい」とはどういうことか、コミュニケーションの視点から初めて解き明かす一冊。
文芸	2月8日	169025	天使と悪魔のシネマ	小野寺史宣	1,600	四六上製	248	千葉県生まれ。2006年『裏へ走り蹴り込め』でオール讀物新人賞を受賞。2008年、『ROCKER』でポプラ社小説大賞優秀賞を受賞。著書に『ライフ』『ひと』（2019年本屋大賞2位）『まち』などがある。	運命は変えられないが、多少のアレンジはできる。狙いをつけた人間の行動に絶妙なタイミングで介入する天使と悪魔。あるときは駅のホームで、またはビルの屋上で。「うまいことを言ってるが、君は悪魔なんだろう？」去りゆく日常と異界のブラックユーモアが織りなす、哀歓と衝撃にみちたオムニバス小説の傑作。
文芸	2月8日	169032	ほたるいしマジカルランド	寺地はるな	1,600	四六上製	288	1977年佐賀県生まれ。大阪府在住。 2014年『ピオレタ』で第四回ポプラ社小説新人賞を受賞しデビュー。第38回「咲くやこの花」賞受賞。『夜が暗いとはかぎらない』『水を縫う』など著作多数。	大阪の北部に位置する蛍石市にある老舗遊園地「ほたるいしマジカルランド」。「うちはテーマパークではなく遊園地」と言い切る名物社長を筆頭に、たくさんの人々が働いている。従業員は自分たちの悩みを裡に押し隠しながら日々奮闘中。いまもっとも注目の集まる書き手によるお仕事小説の決定版。
文芸	2月15日	169445	和菓子迷宮をぐるぐると	太田忠司	1,600	四六並製	320	81年に「帰郷」で「星新一ショートショート・コンテスト」優秀作を受賞。「少年探偵・狩野俊介」「目白台サイドキック」「名古屋駅西 喫茶ユトリロ」シリーズほか、『奇談蒐集家』『遺品博物館』『猿神』など著作多数。	変わり者と言われる理系大学生・涼太が出会ったのは、あまりに美しい「和菓子」。その「美味しさ」にも魅せられ、すっかり和菓子の虜に。勢いのあまり大学院に進まずに和菓子職人になることを決意し、製菓専門学校に入学してしまった―。和菓子をめぐる、美味しくて元気がもらえる一冊。
文芸	2月15日	169452	うしろむき夕食店	冬森灯	1,600	四六並製	320	第1回おいしい文学賞にて最終候補にえられた『縁結びカツサンド』でデビュー。冬森作品のおいしい描写は、読む人をとても幸せにする。本作が二作目になる。	レトロな洋館に、ステンドグラスの嵌め込まれた観音開きの扉。ドアの両側には二つずつの格子窓。そこから見える満月のような照明と、おいしそうな香りが漂ってきたら間違いなし。そこが「うしろむき夕食店」だ。お店の名物は「料理おみくじ」。いろいろ迷ってしまうお客さんに、意外な出会いを与えてくれると評判だが――。『縁結びカツサンド』で注目を集めた著者による小説第二作目。